



「裏門(東門)」

【用語解説】

- ・部室棟の南側、灯油庫の近くにある門。
- ・元々は東門と呼ばれており、1933(昭和8)年頃には既にあった。
- ・年に数回、文書裁断車などの大型車の来校によって開放される。
- ・1979(昭和54)年の封鎖までは普通に出入りすることができた。
- ・封鎖までは駅から教室への最短ルートとして使われていた。
- ・元々の裏門は1958(昭和33)年の校地拡張でグラウンドに。



今週のクイズ

Q 「東西南北」や「女子」・「第二」がつかない県立女子高は何校あるか？

- A 1校(久喜高のみ) B 2校 C 7校 D 13校

【先週の答え】

C チアリーディング部は久喜高の歴史上、一度も存在したことがない。

百周年記念式典まで あと 21週間